

市委託路線バスの愛称「ぬまくる」に決定



カラーボーダー：路線の色を集約（10本）

問合せ 企画政策課政策推進係 ☎内線4034

市が委託運行する路線バスのデザイン刷新に合わせて愛称を募集した結果、「ぬまくる」に決定しました。沼田の「ぬま」に「来る」「車」「サークル」「くるっと巡る」、車を意味する「Vehicle」の「くる」を掛け合わせ、皆をつなぐバスになるよう思いが込められています。

応募総数は308件で、「ぬまくる」は利根商業高校1年の星野羽奏さんら6人から応募がありました。車両デザインは「テラス沼田」の設計などを担当した(株)プランツアソシエツが手掛け、同施設に描かれている人のシルエットなどをモチーフにしています。

市委託路線（10路線）

中山本宿線・迦葉山線・根利尾瀬高校線・佐山線・奈良秋塚循環線・南郷線・岩本線・川田線・宇楚井原線・沼須線

採用作品応募者（6人）

星野羽奏（利根町高戸谷）
朝倉修（北海道札幌市）
山口真二郎（東京都新宿区）
西村薫（東京都町田市）
内河裕信（神奈川県相模原市）
浜口直樹（神奈川県横須賀市）
※敬称略

私は通学で毎日バスを利用しています。新しくなるデザインを見て「人の影がかわいくて、沼田が明るくなりそう」と、通学が楽しみになりました。愛称は直感で「ぬまくる」とひらめき、「沼田を楽しく回れるように」「沼田に来る」という意味を込めました。言いやすく響きもいいので気に入っていて、皆が呼んでくれると思うと嬉しくなります。将来は医療保育士になって、病気の子どもに寄り添いたいと考えています。そのときに沼田に住んでいるかは分かりませんが、テラス沼田のフリースペースのように若い人が集えたり、活躍できる場があったりすると、まちが生き生きしていくと思います。この沼田のオリジナルバスが走ること、まちが明るくなって皆が住み続けたい、来る人がよいまちと感じてくれることを期待しています。



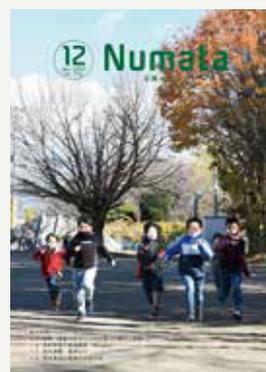
星野羽奏さん
－ 利根商業高校1年 －

「広報ぬまた」のリニューアルからもうすぐ1年、これからも暮らしに溶け込み、楽しく読める広報紙づくりに努めていきます。

問合せ 秘書課広報広聴係 ☎内線4006

群馬県市町村広報コンクールで、「広報ぬまた12月号」が広報紙部門の市の部で2席を受賞しました。応募、入賞ともに初めてです。

コロナ禍での学校休校期間に子どもたちを受け入れた学童クラブを取り上げ、安心できる場であると同時に地域で支えていく意義を考えました。講評では「表情豊かな写真が多く、多くの市民を取り上げること、親近が深まり、好感が持てる」と高い評価を受けました。



本市初県コンクール2席
広報ぬまた12月号